



地球の歴史と
向き合っていくのは、
ときめきです。

火の国阿蘇の
恵みのブランド

自然

azen
A s o C i t y

眼前に広がる草千里の光景は、圧倒的なスケールで人びとの胸を打つ。
空のすぐ近くに建つ高原のミュージアム、阿蘇火山博物館。

その名のとおり、火の山の物語を生きた声で語っていくのが役割だ。

「子どもたちに火山の不思議をなるべくわかりやすく話していくと……」
みるみる目が輝いてくる、どんどん質問してくる。

それが自分の力になっていると、

学芸員のひとり松嶋由佳さん(写真中央)は断言する。

阿蘇の生まれだが、いつときこの地を離れていた。

「帰ってきて、あの山が見えてきたら、もうじいんとしてしまつて……」

その感動のありかを、訪れる人びとに素直に伝えたいと心から思う。

農学を究める玉置さん(写真右)、理学を究める豊村さん(写真左)、
そうした、こころざしの高いメンバーたちとのチームワークもみごと。

遠い祖先の人たちがこの火山とどのように賢く付き合ってきたか、

「学べば学ぶほど、阿蘇の大きさ、奥深さが身に沁みってくるのです」

阿蘇火山博物館 学芸員

あるがまま、という貴さ。

人と自然が共作する阿蘇。